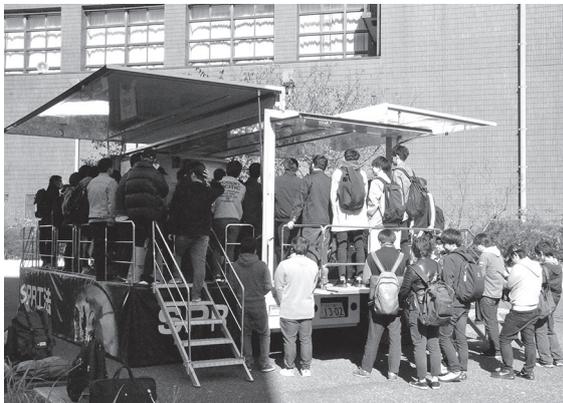


## 日本大学生産工学部土木学科で 第3回管路更生大学を開催

No-Dig Today 編集室

11月8日、日本大学生産工学部津田沼キャンパス（千葉県習志野市）39号館北側広場において生産土木学科3年生のマネジメントコース16名と都市環境コース96名を対象に、管路更生大学の管路更生工法のデモ施工の講義が実施された。本デモ施工は、生産工学部の全学生および全教職員にも開放され、今年は大学の地域貢献策として社会人にも講義を開放しており下水道関係の千葉県職員が8名参加した。

デモ施工の講義は1限（9：00～10：30）をマネジメントコース向けと2限（10：40～12：10）に都市環境コース向けの2回実施。学生にはデモ施工の4工法のレポート提出が課せられており、



▲ デモ施工を見学する受講者

説明員の専門用語に戸惑いつつも興味深く熱心に見入る学生らの姿が印象的であった。

建設業界ではインフラの建設から維持管理（メンテナンス）の時代にシフトしており、維持管理技術を有した技術者の需要が高まっている。日本大学生産工学部では、社会における実践力を備えた学生の育成を教育目標のひとつに掲げ、産学連携の強化を図っている。社会のニーズに合った土木技術者を教育するために生産工学部土木学科では、（一社）日本管路更生工法品質確保協会（以下、品確協）および東京都下水道サービス（株）（以下、TGS）と連携し下水道管路メンテナンスの講義を平成29年度から実施、今年度で3回目となる。品確協とTGSにとっても「管路更生大学」の講義を実施することで下水道管路メンテナンスの現場の活きた知識と経験を学生らに学んでいただき「次世代を担う土木技術者の育成・確保につなげていきたい」ねらいがあった。このように両者のねらいが一致し「管路更生大学」を開催することになった。

本講義は、生産工学部土木学科3年生の「水環境浄化システム」「水環境浄化システム（S）」の全15回の講義のうち第11回から第15回までの下水道管路メンテナンスの講義を「管路更生大学」と称している。

### 【講義内容】

回数（開催日）	講義テーマ	講師
第1回（9/17） ～第10回（10/22）	基礎的な下水道の講義と試験	森田弘昭教授（土木学科環境工学研究室）
第11回（10/25）	管路の維持管理	高橋常務理事（下水道メンテナンス協同組合）
第12回（10/29）	下水道管路の調査点検	田村課長（東京都下水道サービス（株））
第13回（11/1）	管路更生工法	佐藤理事（（一社）日本管路更生工法品質確保協会）
第14回（11/8）	管路更生工法のデモ施工	日本SPR工法協会、3 SICP技術協会、EX・ダンビー協会、（一社）日本管路更生工法品質確保協会
第15回（11/12）	試験	森田弘昭教授（土木学科環境工学研究室）